

指定校番号	28021	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立 亀崎小学校	校長	和田 麻里子	生徒指導主事	石田 葉子
-----	------------	----	--------	--------	-------

取組事例名 『亀っ子そうじ』

取組のねらい『キーワード なかよく 協力』

- 異年齢の友達とも仲良く行動する。
- 学年に応じた役割を考えて、協力してそうじに取り組む。

取組の具体的内容『キーワード みんなの中での役割』

- 縦割りグループ（7～8名）を編成。
- 縦割りグループの活動は、年6回。（スタンプラリー、おりづる、清掃）どの活動もだれとでも、『なかよく協力』して活動を楽しむことを一番の目当てにする。
- 夏休み、冬休み前のワックスがけ前に、割り当てられた場所を、縦割りグループで特別にきれいにする。（年2回）
- 『そうじの手順表』を作成し、「誰が 何を使って 何をする」という清掃の手順が分かるようにする。

12月6日  
かめっこそうじ

そうじの目標  
①全員でそうじをする  
②そうじ道具を大切に使う  
③後片付けをする

今日の流れ  
15:00 始めの会  
そうじ20分  
音楽が鳴ったら体育館へもどる  
終わりの会

もとの位置にすわりましょう  
そうじ道具もグループで  
持っておきましょう

振り返りタイム  
★6年生が司会・記録  
★感想や気持ちをたくさん書こう

10	3F南手洗い場	手洗い場(たわし) 1・2・6年	タイル(アクリルたわし・下雑巾) 3・4・5年	藤田	
11	北脱靴場の①	ほうき 1・6年	くつ入れ(ミニほうき) 3・4年	かさ立て 2・5年	白石
12	北脱靴場の②	ほうき 1・6年	くつ入れ(ミニほうき) 3・4年	かさ立て 2・5年	白石
13	南脱靴場の①	ほうき 1・6年	くつ入れ(ミニほうき) 3・4年	かさ立て 2・5年	下村
14	南脱靴場の②	ほうき 1・6年	くつ入れ(ミニほうき) 3・4年	かさ立て 2・5年	下村
15	職員玄関	ほうき 1・6年	スリッパ入れ(下雑巾) 3・4年	す板(下雑巾) 2・5年	校長
16	体育館(下窓)	モップ 1・6年	ビカビカ棒&下雑巾 2・3・4・5年		教頭
17	1年1組	ほうき 1・6年	下ぞうさん 2・3・4年	黒板・上ぞうさん 5年	植田
18	2年1組	ほうき 1・6年	下ぞうさん 2・3・4年	黒板・上ぞうさん 5年	原

教室そうじの方法

ほうき 1・6年

下ふみふみ 2・3・4年

両足・上ぞうさん 5年

黒板をよから下にむけて拭き  
てきれいにする。

黒板のまんの部分のチョーク  
を拭き落とす。きれいにして、磨  
りとりをする。

↑  
上ふみふみ 5年

つくえを全員で前に運ぶ。(学年は2人で運ぶ)

つくえを全員でもとの位置にもどす。(学年は2人で運ぶ)

いすをのぞく。

ロッカーの整理整頓をす  
る。

パケジを片付けて、ふみふ  
み及ふみふみふみふみと  
ぬる。

取組の課題・創意工夫『キーワード なかよく 協力を実感するために』

- 「だれが 何を使って 何をする」を明らかにし、そうじの手順表、必要な掃除用具をグループごとにセットした。→どのグループも集まって、高学年が役割を確認した後、すぐに掃除にとりかかることができた。
- 全校で時間割をそろえ、授業時間の中で、全職員が指導に当たることができるよう、年間を見通して活動を計画した。
- ▼児童は時間の中でスムーズに活動できたが、そのための準備は、そうじ場所の選別、掃除用具の仕分けなど、大変煩雑で時間がかかった。シンプルにしていきたい。
- ▼児童だけでは活動が進まなかったり、トラブルへの対応が難しかったりするなど、教員の目が届ききらないことがある。高学年がリーダーシップを発揮できるようなフォローがまだまだ必要である。

## 取組の成果（効果）『キーワード 高学年のリーダーシップ』

○そうじの手順表があり、「誰が 何を使って 何をする」が明確になっているので、ふり返りでは、「グループのみんなが力を合わせてそうじをした（90%以上 16 グループ，80%以上 7 グループ）」、「自分の役割の仕事をした（90%以上 21 グループ，80%以上 3 グループ）」と、縦割りグループでそうじを行ったことに達成感をもっていた。（全 24 グループ）

○低学年と高学年がペアになって役割の仕事を行う中で、高学年はやり方を説明したり、手をとって一緒にやったりする姿が見られた。6年生も自信をもって指示することができた。



○ワックスがけ前の特別なそうじを、縦割りそうじに当たったことで、児童ははりきって行き、仕事を見つけ、「きれいにした」という満足感を味わっていた。



〈グループのふり返りから〉

○とてもきたなかったのがやりがいがあった。きれいにして気持ちよくなった。（手洗い場）

○ほこりや砂がたくさんとれた。汚いところがきれいになり、すみずみまでできた。（脱靴場）

○ほこりがいっぱいあって、びっくりした。きれいになって、すっきりした。（玄関）

○手が汚れたけど、すみがよくとれて、きれいになった。（書写教室）

## 今後の展開『キーワード 自分達で』

・縦割りグループでは、昨年度から行っていたスタンプラリーのような「楽しい遊びの活動」だけでなく、今年度は「清掃活動」も行い、縦割りグループでの活動内容を広げることができた。来年度は、同じ活動内容であっても、高学年が更にリーダーシップを発揮して、低学年と一緒に活動できるように言葉をかけ、より自分たちで活動できる縦割り活動を目指したい。

## 他校へのアドバイス『キーワード 活動の見える化』

・事前に「誰が 何を使って 何の仕事をする」ということを明確にする。→ 本時の活動がシンプルになり、「自分の役割がしっかりできた」「協力してなかよくできた」「気持ちがいい」という児童の達成感を味わわせる。

・年間を通して活動を計画し、必ず教員がグループについて支援し、ふり返りでは、なかよく協力してできた姿を言葉や行動を通して具体的に示し、自信をもたせる。